

「中小企業等向けクラウドサービス開発支援事業」の概要

本事業は、中小企業等によるクラウドサービスの開発及び事業化の支援を目的として、総務省、独立行政法人情報通信研究機構（NICT）及び独立行政法人統計センター（NSTAC）が連携して実施します。

事業実施にあたり、「クラウドテストベッドコンソーシアム」を平成23年10月末までに設立し、コンソーシアム加入者に対して次のⅠ～Ⅲに示すクラウドサービスの開発環境等を平成23年11月～平成24年3月（約5ヶ月間）まで提供します（開始時期は加入者に別途連絡します。）。

本事業を利用するにはコンソーシアムへの参加が必須となります。コンソーシアムへの参加費用はかかりません。コンソーシアム事務局（以下、「事務局」という。）は、総務省から株式会社三菱総合研究所に委託いたします。

コンソーシアムでは、クラウドサービスの開発環境の提供の他、メーリングリストによるJGN-Xのネットワーク運用情報、NICT情報通信ベンチャー支援センターからベンチャー支援ニュース配信、加入者間の情報交流の促進を図ります。

Ⅰ 加入者に対して、NICTが管理・運営する新世代通信網テストベッド（JGN-X:JGNeXtreme）のリソースを仮想マシン化してクラウドサービスの開発基盤として提供します。

1 仮想マシンの仕様（1セットあたり） → 利用用途に応じて相談可能

- (1) メモリ : ~2GB
- (2) ディスク容量 : ~80GB
- (3) CPU : 仮想1core
- (4) ネットワーク : 100Mbps 共用回線
- (5) 仮想化方式 : ハイパーバイザー型
- (6) グローバルIPアドレス : IPv4アドレス × 2
- (7) 提供OS : CentOS x86_64（ゲストOSは利用者負担で追加可能）
- (8) データ転送量 : 無制限（研究開発業務の状況により制限あり）
- (9) 管理者権限 : root 権限付与
- (10) リモートログイン : SSH

2 仮想マシンの提供期間

平成23年11月～平成24年3月の間で、原則1週間単位で申込みが可能です。申請時の事業概要等を勘案し、加入者とNICT・事務局との間で調整することがあります。

3 仮想マシンを利用する上での注意事項

- (1) 仮想マシンの割当ては、JGN-Xの利用状況を勘案して決定するため、当面は10～20者程度に対して割当てを行います。これを上回る申請があった場合は、事務局が割当てる者を申請時の事業概要等を勘案して選考します。

事務局は、JGN-Xで仮想マシンの追加準備ができ次第、順次割り当てます。

- (2) JGN-X上では営利目的の事業活動が行えません。JGN-X上で開発したサービスは、JGN-X外のネットワーク上で提供していただきます。

また、JGN-X の運営を妨害する行為、法令や公序良俗に反する行為、総務省・NICT・NSTAC・事務局が不相当と認める行為は禁止します。

禁止行為が判明した場合は、事務局はコンソーシアムへの加入を直ちに取り消します。

- (3) 総務省・NICT・事務局は、JGN-X の通信品質や性能を保証しません。NICT で行う研究開発活動によって、ネットワーク管理上、加入者に提供する仮想マシンの改変を要する場合や、JGN-X の利用途中にサービス停止となる可能性がありますので、開発中のソフトウェア等は適宜、加入者がバックアップをしてください。
- (4) NICT は、研究開発または運営上必要な情報を収集する場合があります。
- (5) 上記 (3) の許容及び (4) の協力等により、JGN-X における運営・研究に協力するものとします。

II JGN-X 上に NSTAC が保有する統計情報の一部を格納したデータベースを構築します。このデータベースに対し API 等の各機能を使用して JGN-X 内からアクセスすることができます。

なお、各機能の提供は、NSTAC の準備ができ次第開始することとします。

1 JGN-X 上に NSTAC が構築するデータベースの機能は以下のとおりです。

(1) API 機能（平成 23 年 12 月から提供開始予定）

「政府統計の総合窓口（e-Stat）」で提供している統計情報を、WebAPI を通じて提供する機能を提供。

提供を予定している主な統計調査は以下のとおり。

国勢調査、家計調査、経済センサス、
小売物価統計調査、事業所・企業統計調査、住宅・土地統計調査、
消費者物価指数、労働力調査 等

(2) GIS 機能（平成 24 年 2 月から提供開始予定）

「政府統計の総合窓口（e-Stat）」の「地図で見る統計（統計 GIS）」で提供している統計データと Web 上の地図データを組み合わせ、インターネット上で、利活用できる Web サイトの地理情報システムを提供。

(3) セルデータ集計機能（平成 24 年 2 月から提供開始予定）

セルデータ（調査事項における回答パターンの組合せを集積したデータ）を集計用基礎データとし、集計事項をドラッグ・アンド・ドロップによりクロスセクションの設定を可能とする GUI（Graphical User Interface）の集計システムを提供。

2 統計データベースを利用する上での注意事項

(1) 上記 1 (1) ~ (3) の機能の利用方法については、別途コンソーシアム規約に示します。

(2) 上記 1 (3) の機能により提供する統計情報（この統計情報に基づき作成された情報も含みます。）を第三者に対して提供することは当面禁止します。

Ⅲ NICT 情報通信ベンチャー支援センターと連携し、NICT 研究成果（研究者）、ベンチャーキャピタル、通信キャリア、ベンダー等とのマッチングの場や、ビジネスプラン発表会等の成果発表の場を設けます。

コンソーシアムでの活動により得られた新規性・波及性のあるサービスの事業化のため、平成24年1月～3月において、参加の有望な中小企業等と NICT 研究者・投資家・通信キャリア等とのマッチングの機会を提供します。

※1 本企画は、ICT ベンチャー全般を対象としており、コンソーシアム加入者のみを対象とするものではありません。

※2 マッチングの場は、開催日時・場所が決まり次第、事務局から電子メールでご案内致します。

（参考）平成22年度のマッチングの機会 実施状況

- 1 資金面でのマッチング（平成22年7月開催）
ベンチャーキャピタル5社に対して、ICT ベンチャー5社がそれぞれ、ビジネスプランを説明し、投資をPR。
- 2 販路面等でのマッチング（平成23年1月開催）
ベンチャーキャピタル、通信キャリア、ベンダー等約300名に対し、ICT ベンチャー12社が、ビジネスプランを説明し、アライアンス、販路、投資等をPR。